

鹿島製油所における灯軽油脱硫装置の営業運転開始について

1. 当社(本社:東京都港区虎ノ門二丁目、社長:松下功夫)は、子会社の鹿島石油株式会社(本社:東京都港区虎ノ門二丁目、社長:荒川健治)を通じて、同社鹿島製油所(所在地:茨城県神栖市、所長:古山富夫)内に灯軽油脱硫装置を建設してまいりましたが、このたび、無事装置が完成し、去る1月4日に営業運転を開始しました。
2. 新設した灯軽油脱硫装置の概要は次のとおりです。
 - (1)名称:第8水素化脱硫装置
 - (2)能力:27,000バレル/日
 - (3)投資額:約65億円
 - (4)工期:2006年11月1日~2007年9月30日
 - (5)施工:日陽エンジニアリング株式会社
3. 本装置は、主に鹿島製油所内に新設した石油化学製品生産設備の一部である第1コンデンセート蒸留装置から生じる灯軽油留分(中間留分)中の硫黄分を低減し、灯油や軽油を生産するものです。

● 【参考資料】新設した「灯軽油脱硫装置」(名称:第8水素化脱硫装置)の写真



以上